

インフルエンザ(2026年第15週)疫学情報

《コメント》

2026年第15週の定点当たり報告数は1.46(患者報告数5,444)となり、前週の定点当たり報告数3.21よりも減少した。都道府県別では沖縄県(4.36)、北海道(4.29)、山形県(4.03)、富山県(3.11)、長野県(3.04)、福井県(2.79)、青森県(2.54)、岩手県(2.45)、石川県(2.40)、島根県(2.35)の順となった。47都道府県で前週の報告数よりも減少した。

基幹定点医療機関から報告された、インフルエンザによる入院報告数は82例であり、前週(142例)から減少した。31都道府県から報告があり、年齢別では1歳未満(1例)、1～4歳(14例)、5～9歳(17例)、10代(8例)、20代(5例)、30代(5例)、40代(4例)、50代(2例)、60代(5例)、70代(8例)、80歳以上(13例)であった。

国内のインフルエンザウイルスの検出状況を見ると、直近5週間(2026年第11週～2026年第15週)では、B型が252件(99%)、AH1pdm09が1件(0%)、AH3亜型が1件(0%)であった。

詳細は国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト(<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/article/influenza/article.html>)を参照されたい。